

学校基盤サービス利用仕様書

1 はじめに

本仕様書は、学校基盤サービス利用に係る仕様を定めるものです。

2 契約期間及び利用想定期間

(1) 契約期間

2025年（令和7年）4月1日から

2026年（令和8年）3月31日まで

(2) 利用想定期間

2020年（令和2年）1月1日から

2026年（令和8年）3月31日まで（75か月）

※サービス利用料として、年度ごとに契約を締結すること。

3 利用者及び端末数

藤沢市立学校55校及び教育委員会（教育文化センター及び学校教育相談センター善行分室含む）

（学校内訳）

学校番号	学校名	住所
<小学校>		
1	藤沢小学校	藤沢市本町一丁目9番1号
2	明治小学校	藤沢市城南三丁目3番1号
3	鵠沼小学校	藤沢市本鵠沼五丁目4番23号
4	本町小学校	藤沢市本町二丁目6番17号
5	村岡小学校	藤沢市弥勒寺一丁目16番1号
6	六会小学校	藤沢市亀井野550番地
7	辻堂小学校	藤沢市辻堂東海岸一丁目17番1号
8	鵠洋小学校	藤沢市鵠沼桜が岡三丁目16番38号
9	片瀬小学校	藤沢市片瀬二丁目14番29号
10	大道小学校	藤沢市朝日町3番地の3
11	秋葉台小学校	藤沢市遠藤2959番地
12	御所見小学校	藤沢市打戻1902番地
13	長後小学校	藤沢市長後770番地
14	八松小学校	藤沢市辻堂元町三丁目1番6号
15	高砂小学校	藤沢市辻堂西海岸一丁目3番1号
16	善行小学校	藤沢市善行団地6番1号

1 7	富士見台小学校	藤沢市下土棚 5 9 1 番地の 1
1 8	鵜南小学校	藤沢市鵜沼海岸四丁目 7 番 3 4 号
1 9	浜見小学校	藤沢市辻堂西海岸一丁目 4 番 1 号
2 0	俣野小学校	藤沢市西俣野 2 6 6 0 番地
2 1	大越小学校	藤沢市善行坂一丁目 1 9 番 1 号
2 2	羽鳥小学校	藤沢市羽鳥三丁目 1 1 番 1 号
2 3	湘南台小学校	藤沢市湘南台五丁目 2 3 番地
2 4	大庭小学校	藤沢市大庭 5 3 0 7 番地の 7
2 5	亀井野小学校	藤沢市亀井野三丁目 3 1 番地
2 6	新林小学校	藤沢市川名 4 0 0 番地
2 7	中里小学校	藤沢市瀬郷 6 8 番地
2 8	滝の沢小学校	藤沢市遠藤 6 4 1 番地の 3
2 9	大鋸小学校	藤沢市大鋸 1 0 2 0 番地
3 0	天神小学校	藤沢市天神町一丁目 1 番地
3 1	駒寄小学校	藤沢市大庭 5 5 2 7 番地の 2
3 2	高谷小学校	藤沢市高谷 9 番 1 号
3 3	小糸小学校	藤沢市大庭 5 0 6 2 番地の 1
3 4	大清水小学校	藤沢市大鋸 1 4 3 3 番地
3 5	石川小学校	藤沢市石川四丁目 1 9 番地の 1
< 中学校 >		
5 1	第一中学校	藤沢市鵜沼神明五丁目 1 0 番 9 号
5 2	明治中学校	藤沢市辻堂新町二丁目 1 3 番 1 号
5 3	鵜沼中学校	藤沢市鵜沼桜が岡四丁目 3 番 3 7 号
5 4	六会中学校	藤沢市亀井野 1 0 0 0 番地
5 5	片瀬中学校	藤沢市片瀬山四丁目 1 番 1 号
5 6	御所見中学校	藤沢市用田 5 0 0 番地
5 7	湘洋中学校	藤沢市辻堂東海岸四丁目 1 7 番 1 号
5 8	長後中学校	藤沢市下土棚 5 9 0 番地
5 9	藤ヶ岡中学校	藤沢市藤が岡三丁目 1 8 番 1 号
6 0	高浜中学校	藤沢市辻堂西海岸一丁目 4 番 3 号
6 1	善行中学校	藤沢市石川 3 9 8 8 番地の 1
6 2	秋葉台中学校	藤沢市遠藤 2 0 0 0 番地の 2
6 3	大庭中学校	藤沢市大庭 5 4 1 6 番地の 6
6 4	村岡中学校	藤沢市弥勒寺二丁目 1 番 2 7 号
6 5	湘南台中学校	藤沢市湘南台七丁目 1 8 番地の 1

6 6	高倉中学校	藤沢市高倉 1 1 2 2 番地
6 7	滝の沢中学校	藤沢市遠藤 6 9 9 番地の 3
6 8	大清水中学校	藤沢市大鋸 1 4 0 0 番地
6 9	羽鳥中学校	藤沢市羽鳥四丁目 1 3 番 1 4 号
<特別支援学校>		
7 0	白浜養護学校	藤沢市辻堂西海岸一丁目 2 番 2 号

(教育委員会内訳)

施設名	住所
藤沢市役所本庁舎	藤沢市朝日町 1 番地の 1
教育文化センター	藤沢市大鋸 1 4 0 7 - 1
学校教育相談センター善行分室	藤沢市善行 7 - 7 - 2 4

(ユーザー数)

藤沢市立小学校教職員	1, 7 8 0 人
藤沢市立中学校教職員	7 9 9 人
藤沢市立特別支援学校教職員	1 1 4 人
藤沢市立小学校児童	2 2, 9 7 1 人
藤沢市立中学校生徒	1 0, 6 9 9 人
藤沢市立特別支援学校生徒	1 6 0 人
教育委員会	7 4 人
計	3 6, 5 9 7 人

(端末数)

校務用端末	2, 3 5 3 台
学習用端末	3 7, 8 8 4 台

4 利用システムの機能等

(1) インターネット系システム

- ア フィルタリングサーバ (小学校用、中学校・特別支援学級用)
- イ ポータル/ファイル共有サーバ
(小学校用、中学校・特別支援学級用)
- ウ 教材配信サーバ
- エ 学校基盤ウイルス対策管理サーバ
- オ WSUS サーバ
- カ 資産管理サーバ
- キ システム監視サーバ

(2) 校務共通・外部接続系システム

- ア Active Directory サーバ
- イ 外字システムサーバ
- ウ システム監視サーバ
- (3) 校務内部系システム
 - ア Active Directory サーバ
 - イ ファイル共有サーバ (小学校用、中学校・特別支援学校用)
 - ウ 校務支援システムサーバ
 - エ 仮想システムサーバ
 - オ WSUS サーバ
 - カ システム監視サーバ
- (4) ネットワーク機器
 - L3 スイッチ 5 8 拠点分
- (5) 外字ソフト
 - 外字サーバ EV (Dyna Font) 2,000 ライセンス分
- (6) 資産管理ソフト
 - Microsoft 製品だけでなく、幅広いソフトウェア製品のセキュリティパッチが簡単な手順で配信できるものとする。
 - 4, 0 1 5 台分のライセンス (学習用端末分 (windows 端末))
- (7) 仮想化システム
 - 1 台のクライアント端末で校務系システム (成績処理等) と校務外部接続系 (インターネット接続) を分離でき、切り替えに時間がかからないもの。
 - 利用者想定 約 2, 7 6 7 ユーザー分

5 運用・保守

- (1) 運用・保守期間
 - 2 0 2 5 年 (令和 7 年) 4 月 1 日から
 - 2 0 2 6 年 (令和 8 年) 3 月 3 1 日まで
- (2) 作業内容
 - ア 年次更新作業
 - 毎年 3 月末から 4 月初めにかけて実施する年度更新に伴う Active Directory やファイルサーバの更新作業に対応すること。
 - ※例年 3 月 2 7 日から 4 月 3 日の間で作業を実施。
 - イ 年度中の更新作業
 - 年度中の教職員の任用や異動等に関する登録作業を行うこと。また、ファイルサーバへのアクセス制限等についても対応を行うこと。

ウ 契約終了時のデータ引継ぎ

本契約終了時には、次期システムへの移行に必要なデータの抽出や効率的な手段の提案など、積極的に協力すること。

エ 契約終了後のデータ消去

本契約終了後に復元不可能な方法でデータ消去作業を実施し、データ消去証明を提出すること。

オ 保守一次窓口

教育総務課からの電話、メール等により学校基盤に関する問い合わせの一次窓口等の対応を行うこととし、学校基盤における機器等に起因する障害なのか、別途調達しているクライアント端末に起因する障害なのか一次切り分けを行うこと。受付時間は、平日の午前8時30分から午後5時15分までとする。

ただし、一部の機能が使用不可となるような障害の場合は、24時間365日受付対応可能とすること。

カ サーバ監視

24時間常時、各サーバのシステム監視を行い、警告時または異常時に教育総務課が把握できる体制を提供すること。

キ 不具合時の対応等

提供しているシステムについて不具合の連絡を受けた場合は、速やかに原因調査を行い、復旧作業等の必要な対応を行うこと。また、誤操作等を起因とする教育総務課からの復旧作業の依頼についても、同様に対応すること。

＜一部の機能が使用不可となるような障害の場合＞

24時間365日の対応とし、認知時から24時間以内に根本対処が図られるよう努めること。障害対応について協議を行える連絡体制を整えること。

＜通常業務に影響のない障害の場合＞

受付時間は、平日午前8時30分から午後5時15分までとし、受付後は、速やかに対応の着手をすること。

ク 定例会

定期運用会議（定例会）を原則月1回実施すること。また、会議資料の作成及び当該会議に関する議事録を作成し、教育総務課の承認を受けること。

ケ 月次報告書

問い合わせ、対応状況、課題管理をまとめた月次報告書を作成し、定例会時に教育総務課へ提出すること。

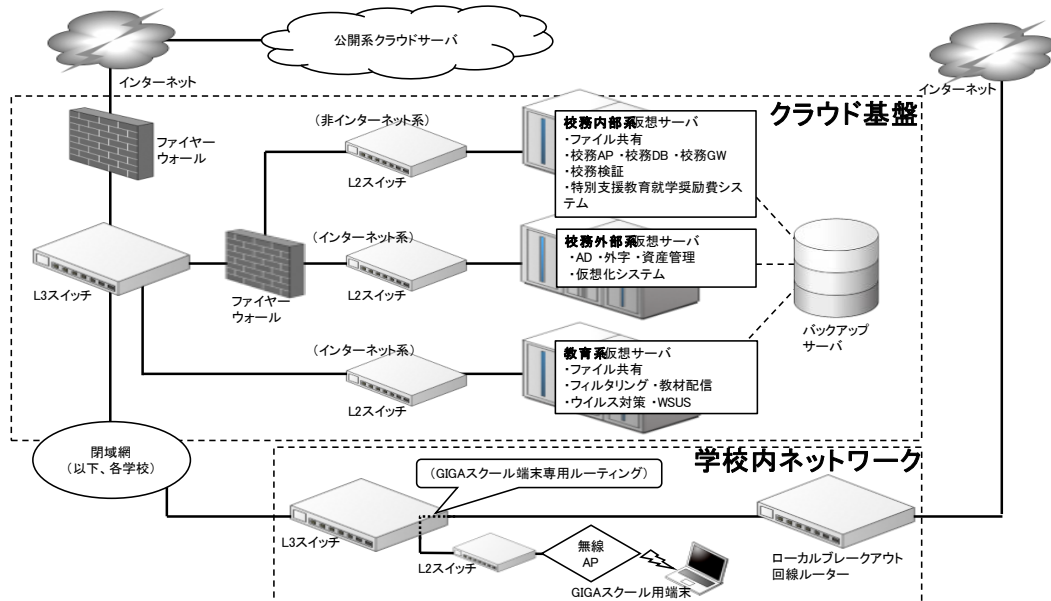
6 本調達システム仕様

6.1 全体要件

本調達システムの全体要件を下記に示す。

(1) クラウド基盤の提供

後述するサーバ等を運用するためのクラウド基盤を提供すること。



(2) 各業務サーバの提供

Active Directory やファイルサーバ等のサーバを提供すること。

(3) ネットワーク分離環境の提供

1 台のクライアント端末で、校務系システム（成績処理等）と校務外部接続系（インターネット接続）できる環境を提供すること。

(4) 校務支援システム環境の提供

校務支援システムのインフラ環境を提供すること。

(5) 特別支援教育就学奨励費システムの提供

特別支援教育就学奨励費システムのインフラ環境を提供すること。

(6) インフラ構成の設計

インフラ構成については、本調達の要件を満たす最適なものとし、利用ユーザー数約 2, 7 6 7 人を前提に対応できるような、構成とすること。

6.2 本調達システム機能要件

6.2.1 クラウド基盤

(1) システム構成

以下 3 システムの提供を目的としてクラウド基盤を利用するもの。

- ・インターネット系システム
- ・校務共通・外部接続系システム
- ・校務内部系システム

ア 各システムを独立したセグメントとして構成すること。

イ 「インターネット系システム」、「校務共通・外部接続システム」は仮想 FW を共有し、インターネットと接続すること。

ウ 「インターネット系システム」、「校務共通・外部接続系システム」、「校務内部系システム」及び学校接続拠点は閉域網で接続すること。

(2) サーバスペック

システム構成のサーバに求める CPU・メモリ・ディスク・OS の数量等は別紙 1 のとおりとする。

(3) 仮想サーバ機能

当市が求める機能が安定して稼働できるスペックを有し、かつ運用において容易にメンテナンス等が可能な機能を有すること。

(4) 仮想化機能

当市が求める機能が安定して稼働できるスペックを有し、かつ運用において容易にメンテナンス等が可能な機能を有すること。

(5) FW 機能

仮想サーバに対するセキュリティの確保の観点から以下の要件を満たすファイアウォールを提供すること。また、ルール設定がない状態で 400Mbps 以上のスループットを有すること。

ア デバイスを通過するトラフィックについて、設定されたファイアウォールポリシーに基づき、ステートフルインスペクションで制御する機能があること。

イ NAT/NAPT 機能があること。

ウ ファイアウォールデバイスの Syslog を任意のサーバに転送する機能があること。

エ デバイ스에 기록される 로그의 타임스탬프를 지정できる機能があること。

オ デバイスのログを自動分析し、脅威と判断された場合にレポートする機能を有する。なお、レポートには最低限以下を含み、専用の Web 画面に表示されること。

(ア) デバイス名

(イ) 脅威の重大度

(ウ) 脅威についての説明、推奨される対策

- (エ) 脅威を検知したシグネチャ名やログから判明した DNS 情報
- カ IPS 機能、Anti-Virus 機能、Web Filter 機能、Spam Filter 機能を有する UTM へのアップグレード可能なメニューがあること。
- キ マネージドサービスとして、必要に応じてセキュリティパッチ適用、バージョンアップ、シグネチャ更新を実施できること。
- ク リソース状況（CPU、メモリ）やトラフィック量をモニタリング可能であること。

(6) 統合管理・運用支援

システムの運用・監視を円滑に実施することができるようにするため、Web ブラウザにより次の項目を統合的に管理（データ収集、蓄積、API によるダウンロード、グラフ作成）できる機能を提供すること。また、収集したデータには閾値を設定することができ、超過した場合、メール及び API で通知できること。

- ア 仮想サーバの CPU 使用率
- イ 仮想サーバのディスク読取/書き込みバイト数/回数
- ウ 仮想サーバのネットワーク送受信バイト数
- エ 仮想サーバの死活監視
- オ ロジカルネットワークのトラフィック
- カ ロジカルネットワークのネットワーク/ポート死活監視
- キ ファイアウォールのリソース状況（CPU、メモリ）やトラフィック量
- ク ファイアウォールのアクティブ/パッシブ接続数
- ケ ファイアウォールの死活状況
- コ インターネットのトラフィック
- サ インターネット接続の死活監視
- シ 閉域網のトラフィック
- ス VPN 接続の死活監視

(7) バックアップ機能・バックアップ環境

バックアップ機能・バックアップ環境として以下を提供し、提供される仮想サーバのバックアップを取得・保存可能であること。

- ア バックアップ対象となる仮想サーバをシステムイメージごとバックアップできること。
- イ バックアップデータは当該システムとは切り離された環境や上書き不可能な環境に保存するなどのランサムウェア対策を実施すること。
- ウ バックアップデータを使用して当該システムを復旧できることを保証すること。
- エ ファイルサーバに保存された情報について、直近 7 日のデータがリス

トアできる仕組みを提供すること。

(8) データセンター

日本国内に立地しているデータセンターとし、日本データセンター協会が制定する「データセンターファシリティスタンダード」において「ティア3」相当の機能を有すること。

(9) 閉域網回線

ア 帯域確保型の閉域網サービスを利用すること。

イ 通信帯域は **300Mbps** を常時提供し、クラウドサービスと直結可能なサービスであること。

ウ 通信速度を最大 **1Gbps** まで増速可能な仕組みを有すること。

エ バックアップ回線を用意できること。

オ 回線に通信断が発生した際に、自動的にバックアップ回線に切り替わる機能を有すること。

カ 年間を通じて、故障受付及び故障対応が可能であること。

キ 故障発生時には、故障発生から30分以内に当市が指定する連絡先へ故障通知ができること。

ク トラヒックレポートの提供ができること。

(10) インターネット接続回線

ア インターネットに接続するための最大 **1Gbps** ベストエフォート回線を提供し、クラウドサービスと直結可能なサービスであること。

イ 年間を通じて、故障受付及び故障対応が可能であること。

ウ トラヒックレポートの提供ができること。

(11) 学習用端末用回線

ア 各学校から直接インターネットに接続するための最大 **1Gbps** ベストエフォート回線を提供すること。

イ 教材配信サーバと接続可能とすること。

ウ 年間を通じて、故障受付及び故障対応が可能であること。

エ トラヒックレポートの提供ができること。

オ 別契約「藤沢市立中学校6校・特別支援学校(R4)教育情報機器等賃貸借」及び「藤沢市立学校等(H31)教育情報機器賃貸借」において各学校に設置する無線APから災害用Wi-Fiを出力する際は、学習用端末以外の端末からも接続可能とすること。

6.2.2 インターネット系システム

(1) ポータル/ファイル共有サーバ

ア ポータル

インターネットにアクセスした際に表示されるポータルサイトを設定すること。

イ ファイル共有サーバ

(ア) 教育委員会及び学校、役職、個人ごとにファイルを保管でき、適切なアクセス権を設定することで、学校内のみ閲覧可などの制限が掛けられること。

(イ) 特定の役職のみが参照、更新、削除できるよう、Active Directory サーバと連携して設定ができること

(2) 教材配信サーバ

藤沢市立学校 55 校にデジタル教科書や学習用コンテンツが配信できる仕組みを用意すること。

(3) 学校基盤ウイルス対策管理サーバ

学校基盤に対するセキュリティ対策を導入すること。

(4) WSUS サーバ

各サーバに Windows Server Update サービスを定期的の実施できること。

(5) 資産管理サーバ

ア セキュリティパッチの管理

Microsoft 製だけでなく、Adobe 等のサードベンダー製品にも対応していること。

イ リモートコントロール

システム管理者にてユーザー画面をリモートで確認できること。また、必要に応じて、システム管理者がリモート操作を実施できること。

ウ ソフトウェア配布

ネットワークの負荷を低減させ、ソフトウェアの配布ができること。

6.2.3 校務共通・外部接続系システム

(1) Active Directory サーバ

ア 利用者情報に基づき、端末ログオン、各ファイルのアクセス制限、各操作制限を利用者情報ごとに設定ができること。

イ 約 2,767 人の利用ユーザーの管理能力を有すること。

(2) 外字サーバ

下記のソフトウェアを導入し構築すること。

<導入ソフトウェア>

外字サーバ EV (Dyna Font) 2,000 ライセンス分
(有償サポートなし)

(3) 仮想化システム

文部科学省が公表する「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準じた、ネットワーク分離のソリューションを導入すること。

ア 仮想環境の立ち上げが概ね1分以内に行える。

イ 校務系システムと校務外部接続系システムへの画面切り替えが概ね30秒以内で行えること。(初期立ち上げ時を除く)

ウ 校務系システムと校務外部接続系システムが、同一画面で同時に見ることができること。

6.2.4 校務内部系システム

(1) ファイル共有サーバ

ア 教育委員会及び学校、役職、個人ごとにファイルを保管でき、適切なアクセス権を設定することで、学校内のみ閲覧可などの制限が掛けられること

イ 特定の役職のみが参照、更新、削除できるよう、Active Directory サーバと連携して設定ができること。

(2) 校務支援システムサーバ

稼働に必要となる環境を構築すること。また、構築、運用、保守の対応について、役割分担を明確にすること。

(3) 特別支援教育就学奨励費システムサーバ

稼働に必要となる環境を構築すること。また、構築、運用、保守の対応について、役割分担を明確にすること。

6.2.5 L3スイッチの設定

クラウド基盤～藤沢市～各学校等を接続するために各拠点に L3 スイッチを設置し、各拠点を繋ぐためのルーティング情報を設定すること。

7 S L A

(1) 学校基盤の運用にあたり、別紙2で定める S L A 項目の状況を報告すること。

(2) 本 S L A は、サービスレベルの実績を確認するための基準であり、必ずしも順守の必要は無いが、サービスレベルの達成・維持に向けて、継続的な改善努力は行っていくこと。

8 その他

(1) 「データの保護及び秘密の保持等に関する仕様書」を遵守すること。

- (2) 文部科学省が公表している「GIGAスクール構想」に伴い、別途対応が必要になったときは協議に応じること。
- (3) 「藤沢市地球温暖化対策実行計画」の趣旨を理解し、第5章の各取組項目を実施するよう努めること

以 上